

## 颯新クラブ研修報告書

研 修 日：平成 27 年 10 月 28 日（水）～10 月 30 日（金）（3 日間）

研修参加者： 有泉庸一郎 清水正二

研修場所： 「市町村アカデミー」 千葉県千葉市美浜区浜田 1 - 1

### 研修内容

**1 日目** 10 月 28 日

地域資源の再発見と地域づくり（講義）

齊藤 俊幸 氏（地域再生マネージャー）〈ふるさと財団〉

—講義内容—

○地域再生の成功のポイントは何か。

○創発(セレンディピティ)とは何か。

何かを発見したという「現象」ではなく、何かを発見する「能力」。

○各地域事例

☆熊本県荒尾市⇒買い物難民

☆高知県土佐市⇒マイナー魚のブランド化

☆高知県本山町⇒6次産業化、地域おこし協力隊

☆秋田県由利本庄市⇒高校のグローバル化、魅力化による生き残り競争

○地方創生戦略

○地方創生戦略が目指すもの

○地域間競争が始まっている。

○企業の競争力とは何か。・顧客満足→評判→顧客誘引→顧客増加・定着→評判の拡大  
(競争力の好循環)・・・オンリーワンの存在

○イノベーションとは何か。

「新しい切り口」「新しい捉え方」「新しい活用法」

苦しいところに変異がある。新しい機軸を考える。

○小さな一番を目指せ。(オンリーワン)

政策立案演習（グループ討議）

政策立案演習の進め方

前川さゆり 氏（市町村アカデミー調査研究部）

1) 演習テーマ「人口減少社会への対応と地方創生」

2) グループ編成とサブテーマの決定

グループ編成により

G班：サブテーマ・「人的資源を活かしたまちづくり」・・・参加者：有泉庸一郎

提案する政策名「おばあ総活躍推進計画」

J班：サブテーマ・「わがまちの特性を活かしたまちづくり」・・・参加者：清水正二

提案する政策名「みんな古賀に行コーン」

3) 各班による立案から発表までの役割分担を決める

2日目 10月29日

1. 議会における政策立案の考え方（講義）

田口 一博 氏 （新潟県立大学国際地域学部 准教授）

政策立案手法

○テーマに基づき、それぞれが自治体の取組み、課題を報告

○情報交換をしながら問題点を整理

○それぞれが共有でき、テーマに対して有効な政策・施策の候補をいくつか見つけ出していく。

○提案する政策・施策を決定

2. 政策立案演習（討議）

各グループにより政策・施策の討議

3日目 10月30日

政策・立案演習（発表・講評）

各グループにより政策・施策発表

G班：政策「人的資源を活かしたまちづくり」

政策サブテーマ「おばあ総活躍推進計画」

参加者 有泉庸一郎

（発表内容は別紙）

J班：政策「わがまちの特性を活かしたまちづくり」

政策サブテーマ「みんな古賀に行コーン」

参加者 清水正二

（発表内容は別紙）

以上、報告致します。

# 平成27年度 政策篇

## 市町村議会議員特別講座II (政策立案コース)

### 講座の概要

市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)では、「市町村議会議員特別講座II(政策立案コース)」と題した研修を下記のとおり開催します。  
この研修では、市町村が直面する政策課題に対処するため、市町村議会議員に求められている役割や政策形成のポイントについて学び、政策立案の実践的な能力を養成することをねらいとしていきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 開催要領

平成27年10月28日(水)～10月30日(金) (3日間)

市町村職員中央研修所(通称:市町村アカデミー)

市区町村議会議員

50名

10,500円以内(教材用図書費が別に必要となる場合があります。)

平成27年8月5日(水)まで

当所ホームページの「研修受講電子申込」サイトから申し込んでいただくか、「研修受講申込書」に必要事項をご記入の上、郵便又はFAXにて直接ご送付ください。

※議会事務局を通してお申込みください。

※特別セミナー参加申込書でお申込みください。

※記載内容については、都合により変更となることもあります。予めご了承ください。

会場 及び 問合せ先: 市町村職員中央研修所 研修部

〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田1-1-1

TEL: 043-276-3126 FAX: 043-276-8484 URL: <http://www.jamp.gr.jp>



Japan Academy for Municipal Personnel

● 12:00～13:00 受付

● 13:00～13:40 オリエンテーション・開講式

● 13:50～16:25 地域資源の再発見と地域づくり(講義)

地域再生マネージャー(ふるさと財団) 斉藤 俊幸 氏

● 16:40～17:40 政策立案演習(討議)

● 「人口減少社会への対応と地方創生」のテーマのもと、小グループに分かれて具体的なサブテーマを決め、発表に向けて討議を行います。

● 9:00～10:05 議会における政策立案の考え方(講義)

新潟県立大学国際地域学部 准教授 田口 一博 氏

● 議会において、実効性のある政策を立案するための考え方、手法、ポイントなどについて学びます。

● 10:50～12:00 政策立案演習(討議)

新潟県立大学国際地域学部 准教授 田口 一博 氏

● 「人口減少社会への対応と地方創生」のテーマのもと、小グループに分かれて具体的なサブテーマを決め、発表に向けて討議を行います。1時限目の講義を踏まえ、講師の指導を受けながら討議を進めます。

● 12:00～13:00 昼食

● 13:00～17:00 政策立案演習(討議)

新潟県立大学国際地域学部 准教授 田口 一博 氏

● 9:00～12:00 政策立案演習(発表・講評)

新潟県立大学国際地域学部 准教授 田口 一博 氏

● これまでの討議で取りまとめた内容を、グループごとに発表します。発表後は質疑応答を行い、講師からの講評を受けます。

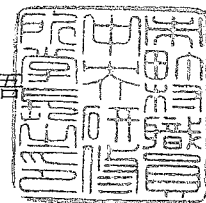
● 12:00 修了式

甲斐市

議員 清水 正二 様

市町村職員中央研修所

学長 林 省 吾



平成27年度 市町村議会議員特別講座Ⅱ（政策立案コース）へのご参加について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

先般、お申込みをいただきました「市町村議会議員特別講座Ⅱ（政策立案コース）」につきまして、申込者全員がご参加いただけることと決定しましたので、お知らせいたします。

つきましては、下記事項についてご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

研修期間	10月28日（水）～10月30日（金）
入所日時	10月28日（水）11:30～12:30

記

1 受講に要する経費の納入について

開講日の10日前までに入金がなされるよう、指定口座に振り込んでください。

① 納入金額： 10,500 円	内訳： 研 修 費 3,600 円
	食 費 4,650 円
	研修生活動費 2,250 円
	教材用図書費 0 円

② 指定口座

千葉興業銀行 幕張テクノガーデン支店

普通 NO.1033103 口座名：(公財)全国市町村研修財団 市町村職員中央研修所

(「市町村アカデミー」でも可)

(注) 振込みの際「御依頼人氏名欄」には、必ず団体名を記入してください。

2 入寮手続き

10月28日（水）11時30分～12時30分までに市町村アカデミーに到着するように来所してください。（時間厳守）

当日は、13時00分から入寮オリエンテーション、開講式等を行ないますので、必ず定刻までにお越しください。

3 研修期間中について

研修期間中は、研修に専念するため公務都合により帰庁することはもちろん、緊急の場合を除き、職務関連の電話連絡を受けることがないよう、公私ともに事前の調整を十分にした上で、研修に参加していただくように、ご留意ください。

夜間の外出につきましては、緊急時（病院での診察等）以外は、認められませんので、ご留意ください。

4 受講の取消し等について

この受講決定通知を受領した後の受講申込み取消し（受講辞退）は、原則として認める事はできません。疾病その他、真に止むを得ない事由により、受講が困難となった場合には、直ちにその旨を市町村アカデミー研修部に、ご連絡ください。

# 政策立案演習 発表用レジュメ



市町村議会議員特別講座Ⅱ（政策立案コース）  
（2015.10.28～10.30）

 市町村アカデミー  
JAAMP Japan Academy for Municipal Personnel

## 政策立案演習（発表・講評）時間配分

### (1) 地域での高齢世代対応 9:00~9:25

- ・ 9:00-9:05 B班発表
- ・ 9:05-9:10 A班発表
- ・ 9:10-9:20 質疑応答
- ・ 9:20-9:25 田口講師コメント

### (2) 地域での若年世代対応 9:25~10:10

- ・ 9:25-9:30 F班発表
- ・ 9:30-9:35 C班発表
- ・ 9:35-9:40 E班発表
- ・ 9:40-9:45 D班発表
- ・ 9:45-10:05 質疑応答
- ・ 10:05-10:10 田口講師コメント

### 休憩 10:10 ~10:25

### (3) 人的資源を活かしたまちづくり 10:25~10:50

- ・ 10:25-10:30 G班発表
- ・ 10:30-10:35 H班発表
- ・ 10:35-10:45 質疑応答
- ・ 10:45-10:50 田口講師コメント

### (4) わがまちの特性を活かしたまちづくり 10:50~11:35

- ・ 10:50-10:55 I班発表
- ・ 10:55-11:00 J班発表
- ・ 11:00-11:05 K班発表
- ・ 11:05-11:10 L班発表
- ・ 11:10-11:30 質疑応答
- ・ 11:30-11:35 田口講師コメント

### 机移動・休憩 11:35 ~11:45

### 田口講師全体総評 11:45 ~12:00

【演習班別名簿】

班	通番	座長	都道府県	市区町村名	市区町村カナ	人口	氏名(漢字)	氏名(カナ)	職名	所属委員会
A 【演習室】 201A 6人	2		北海道	美瑛町	ヒエイチヨウ	10,681	角和 浩幸	カクワ ヒロユキ	議員	総務文教常任委員会 議運
	24		山梨県	甲斐市	カイシ	74,708	保坂 芳子	ホサカ ヨシコ	副議長	総務教育常任委員会
	29		長野県	小諸市	コモロシ	43,637	依田 善典	ヨダ ヨシノリ	議員	
	41		福岡県	古賀市	コガシ	58,643	岩井 秀一	イワイ ヒデカズ	議員	総務常任委員会
	46	◎	佐賀県	小城市	オキシ	46,115	松並 陽一	マツナミ ヨウイチ	議員	総務常任委員会
	55		鹿児島県	阿久根市	アクネシ	22,593	野畑 直	ノハタ スナオ	議員	産業厚生委員会
B 【演習室】 201B 5人	13		宮城県	大和町	タイワチヨウ	27,205	槻田 雅之	ツキタ マサユキ	議員	産業建設
	18		栃木県	高根沢町	タネサワマチ	30,162	渡邊 俊	ワタナベ シュン	議員	建設産業、広報
	34		広島県	尾道市	オミチシ	144,935	加納 康平	カナウ コウヘイ	議員	民生委員会
	44		福岡県	古賀市	コガシ	58,643	姉川 さつき	アネガワ サツキ	議員	市民建産委員会
	53	◎	鹿児島県	阿久根市	アクネシ	22,593	大田 重男	オオタ シゲオ	議員	総務文教委員会
C 【演習室】 202A 5人	1		北海道	新十津川町	シンツツカワチヨウ	6,967	西内 陽美	ニシウチ ヒロミ	議員	総務民生常任委員会
	8		宮城県	大和町	タイワチヨウ	27,205	松浦 隆夫	マツウラ タカオ	議員	総務常任委員会
	31	◎	長野県	小諸市	コモロシ	43,637	竹内 健一	タケウチ ケンイチ	議員	
	38		徳島県	阿波市	アワシ	40,184	川人 敏男	カワヒトシオ	議員	総務委員会
	54		鹿児島県	阿久根市	アクネシ	22,593	仮屋園 一徳	カキヤヅノ カズノリ	議員	産業厚生委員会
D 【演習室】 202B 5人	3		宮城県	白石市	シロイシシ	36,623	松野 久郎	マツノ ヒサオ	議員	厚生文教常任委員会、議会運営委員会、議員広報委員会
	17		栃木県	高根沢町	タネサワマチ	30,162	加藤 章	カウ アキラ	議員	建設産業常任委員会
	32		長野県	千曲市	チクマシ	62,353	大澤 洋子	オオサワ ヨウコ	議員	建設経済常任委員会
	39		徳島県	阿波市	アワシ	40,184	松永 渉	マツナガ ワタル	議員	産業建設常任委員会
	56	◎	鹿児島県	阿久根市	アクネシ	22,593	中面 幸人	ナカツラ ユキト	議員	産業厚生委員会
E 【演習室】 203A 5人	4		宮城県	白石市	シロイシシ	36,623	佐藤 秀行	サトウ ヒデユキ	議員	厚生文教常任委員会、議会運営委員会、議員広報委員会
	21		埼玉県	八潮市	ヤシオン	84,904	矢澤 江美子	ヤサワ エミコ	議員	総務文教常任委員会
	33	◎	兵庫県	播磨町	ハリマチヨウ	34,830	小原 健一	オハラ ケンイチ	議員	厚生教育常任委員会
	57		鹿児島県	阿久根市	アクネシ	22,593	牟田 学	ムタ マナブ	議員	産業厚生委員会
	60		沖縄県	宜野座村	キノザン	5,860	山内 昌慶	ヤマウチ ショウケイ	議員	産業経済委員、米軍基地関係対策調査特別委員
F 【演習室】 203B 5人	7	◎	宮城県	大和町	タイワチヨウ	27,205	松川 利充	マツカワ トシツ	議員	総務常任委員会、議会運営委員会
	27		長野県	小諸市	コモロシ	43,637	相原 久男	アイハラ ヒサオ	議長	
	37		広島県	熊野町	クマノチヨウ	24,907	大瀬戸 宏樹	オオセト コウキ	議員	総務厚生委員会、議会運営委員会
	45		福岡県	古賀市	コガシ	58,643	平木 尚子	ヒラキ ナオコ	議員	文教厚生委員会
	52		鹿児島県	阿久根市	アクネシ	22,593	濱崎 國治	ハマサキ クニハル	議員	産業厚生委員会
G 【演習室】 204A 5人	10		宮城県	大和町	タイワチヨウ	27,205	渡辺 良雄	ワタナベ ヨシオ	議員	社会文教常任委員会
	20		栃木県	高根沢町	タネサワマチ	30,162	佐藤 晴彦	サトウ ハルヒコ	議員	教育福祉常任委員会
	23	◎	山梨県	甲斐市	カイシ	74,708	有泉 庸一郎	アリズミ ヨウイチロウ	議長	議長
	35		広島県	東広島市	ヒガシヒロシマシ	183,788	重森 佳代子	シゲモリ カヨコ	議員	文教厚生
	63		沖縄県	宜野座村	キノザン	5,860	新里 文彦	シンサト フミヒコ	議員	総務財政

【演習班別名簿】

班	通番	座長	都道府県	市区町村名	市区町村カナ	人口	氏名(漢字)	氏名(カナ)	職名	所属委員会
H 【演習室】 204B 5人	19	◎	栃木県	高根沢町	タネザワマチ	30,162	鈴木 伊佐雄	スズキ イサオ	議員	総務委員会
	26		山梨県	甲斐市	カイン	74,708	金丸 幸司	カネマル コウジ	議員	厚生環境委員会
	28		長野県	小諸市	コモロシ	43,637	林 稔	ハヤシミル	副議長	経済建設常任委員会
	36		広島県	東広島市	ヒガシヒロシマシ	183,788	北林 光昭	キタハヤシミツアキ	議員	総務委員会
	58		鹿児島県	阿久根市	アケネシ	22,593	竹原 恵美	タケハラ エミ	議員	総務文教委員会
I 【演習室】 301 6人	5		宮城県	白石市	シロイシシ	36,623	佐藤 聡一	サトウ ソウイチ	議員	総務産業建設常任委員会、議会広報委員会
	12		宮城県	大和町	タイワチヨウ	27,205	高平 聡雄	タカヒラ トオ	議員	総務常任委員会
	22	◎	千葉県	佐倉市	サクラシ	177,652	橋岡 協美	ハシオカ キョウミ	議員	総務常任委員会
	42		福岡県	古賀市	コガシ	58,643	井之上 豊	イノウエ ユタカ	議員	総務委員会
	49		宮崎県	串間市	クスマシ	20,398	木代 誠一郎	キジロ セイイチロウ	議員	産業建設常任委員会、観光振興・まちづくり調査特別委員会
61		沖縄県	宜野座村	キノザン	5,860	當眞 嗣則	トウマ ツギノリ	議員	産業経済委員会	
J 【演習室】 302 6人	6	◎	宮城県	白石市	シロイシシ	36,623	山田 裕一	ヤマダ ユウイチ	議員	厚生文教常任委員会、議会運営委員会、議会広報委員会
	14		宮城県	涌谷町	ウケヤチヨウ	17,380	久 勉	ヒサ ツトム	議員	総務産業建設常任委員会
	25		山梨県	甲斐市	カイン	74,708	清水 正二	シミズ ショウジ	議員	建設経済常任委員会
	43		福岡県	古賀市	コガシ	58,643	高原 伸二	タカハラ シンジ	議員	市民建産常任委員会
	50		宮崎県	三股町	ミマタチヨウ	25,851	福田 新一	フクダ シンイチ	議員	総務産業常任委員会
62		沖縄県	宜野座村	キノザン	5,860	当眞 嗣信	トウマ ツギノブ	議員	総務財政委員会	
K 【演習室】 303 5人	9	◎	宮城県	大和町	タイワチヨウ	27,205	馬場 久雄	ババ ヒサオ	議員	産業建設常任委員会
	15		宮城県	涌谷町	ウケヤチヨウ	17,380	只野 順	タノ ジュン	議員	総務産業建設常任委員会、広報広聴常任委員会、広報分科会
	30		長野県	小諸市	コモロシ	43,637	田中 寿光	タナカ トシミツ	議員	経済建設常任委員会
	47		熊本県	山鹿市	ヤマカシ	55,565	服部 香代	ハツリ カヨ	議員	市民福祉常任委員会
	51		鹿児島県	阿久根市	アケネシ	22,593	岩崎 健二	イワサキ ケンジ	副議長	産業建設委員会
L 【演習室】 304 5人	11		宮城県	大和町	タイワチヨウ	27,205	今野 善行	イマノ ヨシユキ	議員	産業建設常任委員会、広報常任委員会
	16		山形県	小国町	オグニマチ	8,525	間宮 尚江	マミヤ ヒサエ	議員	総務厚生常任委員会、議会広報特別委員会
	40		福岡県	古賀市	コガシ	58,643	結城 弘明	ユウキ ヒロアキ	議長	
	48	◎	宮崎県	日向市	ヒウカシ	63,687	松葉 進一	マツバ シンイチ	議員	産業建設水道常任委員、総合防災対策特別委員会、公共施設マネジメントに関する調査特別委員会
	59		沖縄県	宜野座村	キノザン	5,860	石川 幹也	イシカワ ミキヤ	副議長	産業経済委員会

63人

【政策立案演習 班別テーマ】

- A、B班 : 地域での高齢世代対応 —公共サービスのあり方、家族支援等—
- C、D、E、F班 : 地域での若年世代対応 —就労・結婚・子育て支援等—
- G、H班 : 人的資源を活かしたまちづくり —コミュニティの活性化、人材育成等—
- I、J、K、L班 : わがまちの特性を活かしたまちづくり —産業・歴史文化・地理等—

## 政策立案演習 政策立案シート

## 全体テーマ：人口減少社会への対応と地方創生

班名（A班など）	G 班
班員 （市町村名と氏名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座 長 山梨県甲斐市 有泉 庸一郎</li> <li>・ 発表者 広島県東広島市 重森 佳代子</li> <li>・ 発表者 栃木県高根沢町 佐藤 晴彦</li> <li>・ 発表者 沖縄県宜野座村 新里 文彦</li> <li>・ 記録係 宮城県大和町 渡辺 良雄</li> </ul>
取り組む分野と班で 決定したサブテーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り組み分野：「人的資源を活かしたまちづくり」</li> <li>・ 班で決定したサブテーマ：「おばあのちからで地域を変えよう in 宜野座村」</li> </ul>
提案する政策名	おばあ総活躍推進計画
全体テーマや サブテーマについて の現状や課題	<p>村の現状：人口5800人、産業構成農業7 漁業3</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 おばあの活躍場所が少ない。</li> <li>2 観光客が来ない。</li> <li>3 雇用は少なく、若者が定住しない。</li> </ol>
政策の目的と目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ①おばあの意識改革によるマンパワーUP（スーパーおばあ50名認定） ②宜野座特有の魅力発信、宜野座地域の文化・地元言葉の伝承（小中生対象） ③おばあ子育て応援隊結成・お見合いおばあ養成（子育て世帯が増加）</li> <li>2 &amp; 3 東海岸初の道の駅に連携して、おばあを観光客誘致の起爆剤にして収入増を図る。（観光客1000人/日・雇用100人増加）</li> </ol>
政策の実施方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ①人口減少対策及び子育て 子育て応援隊（安心して産み育てられる村） ②結婚支援・結婚相談：おばあ力でお見合い推進</li> <li>2 &amp; 3 ①民泊・グリーンツーリズム（自然体験、昔遊び）の勧め ②道の駅にて、もずくやパパイヤを活かした郷土フード開発販売</li> </ol>
政策の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少対応（定住促進） マンパワーのある「おばあ」が子育て補助、結婚支援を行うことにより温かみある地域づくりがなされ、安心して産み育てられる村に生まれ変わる。 このことにより住民間のコミュニケーションが増進され「宜野座 Love」度も上がり住み続けたい村へと変わり、若者の定住促進を図る。</li> <li>・ おばあが主役の地方創生 おばあの持つ知恵袋、温もりを活かし「道の駅宜野座」で新たな特産品を開発する。「宜野座グリーンツーリズム」に参画してもらい現状より多くの観光客を呼び込む。これにより雇用促進と税収を増大して地方創生を実現する。</li> </ul>
政策実施に必要な資源	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 観光的資源：豊かな自然と道の駅「ていーあんだ」</li> <li>2 すべての住民</li> <li>3 財源（補助金及び自主財源）</li> </ol>

## 政策立案演習 政策立案シート

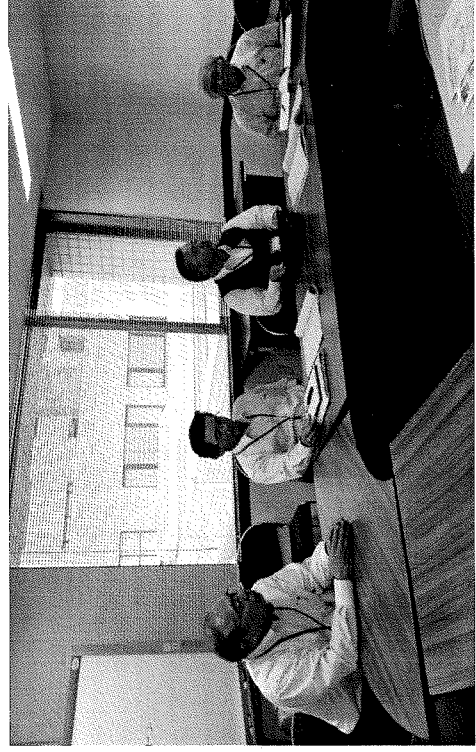
## 全体テーマ：人口減少社会への対応と地方創生

班名（A班など）	J班
班員 （市町村名と氏名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座長 宮城県白石市 山田 裕一</li> <li>・記録 山梨県甲斐市 清水 正二</li> <li>・発表者 福岡県古賀市 高原 伸二</li> <li>・発案者 宮城県涌谷町 久 勉</li> <li>・答弁者 宮崎県三股町 福田 新一</li> <li>・答弁者 沖縄県宜野座村 当真 嗣信</li> </ul>
取り組む分野と 班で決定した サブテーマ	わがまちの特性を活かしたまちづくり 「みんな古賀に行コーン」
提案する政策名	地方創生の起爆剤！！「行コーン、たべんね、こがコーン」！！
全体テーマや サブテーマについ ての現状や課題	<p>古賀市は、福岡県の北西部に位置し、福岡市都心部まで約15kmの至近距離にあり、JR鹿児島本線、国道3号などの幹線が整備されており、その周辺に市街地、商業地、工業地がある。また、九州自動車道の古賀インターチェンジや古賀サービスエリアが位置するなど、広域交通の要衝の一つとなっている。</p> <p>現在、古賀市には、JA全国青年大会で最優秀賞を受賞した特産の「こがスイートコーン」があるが、活かされていない。</p>
政策の目的と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① スイートコーンの生産量・品質を向上させ、併せて生産者の所得向上を図る。</li> <li>② 交流人口拡大を図る。</li> </ul>
政策の実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 耕作放棄地に「こがスイートコーン」の作付を行い、生産量の拡大を行う。</li> <li>① 6次産業化達成を目指し、生産者と加工業者と流通業者との話し合いを行う。</li> <li>① 地元企業（ハウス食品、山崎製パン、ピエトロ）と協力し、地元のスイートコーンを活用した新商品を開発。</li> <li>② 農業体験（グリーンツーリズム）を実施する。また、「古賀ね色の継承者ヨメニコーン改」を活用（コーン活）し、古賀のPRに務める。</li> </ul>
政策の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ブランド化の確立と生産者の所得向上につながる。</li> <li>② 交流人口の増加により、後継者・新規就農者が期待でき、人口流出に歯止めがかかる。</li> </ul>
政策実施に必要な 資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内に地方創生戦略室を立ち上げる。</li> <li>・地元企業開発部の人材を活用する。</li> <li>・地方創生予算</li> <li>・経済産業省の補助金</li> </ul>

人口減少社会への対応と地方創生に資することができる。



研修1日目 受講状況



研修2日目 グループ別討議状況



研修1日目 受講状況



研修3日目 政策立案発表状況



研修3日目 政策立案発表状況



研修3日目 政策立案発表状況